

新潟大学創生学部における教育課程と教育方法の特色および各種連携教育

新潟大学教育研究院人文社会科学系（創生学部）

堀籠 崇

グローバル化、複雑化する現代社会の課題を前に、広い視野と高い汎用的能力を有する人材が求められている。そしてマルチスピード化する社会の中では、そうした能力のもとで、受身ではなくその時々状況を的確に見極め、必要なことを自ら考え、学び続けることが求められる。新潟大学創生学部は、そうした人材の育成を目指し、学生が社会課題を中心として主体性をもって学修に向かうことを可能にする学修課程と、総合大学としての強みを活かして、他学部と連携して教育を行う専門的な学修（当該学部内ではこれを領域学修と呼ぶ）を特徴とする新しいタイプの学部である。

本報告では、新潟大学創生学部における教育課程ならびに教育方法の特色と、そこで行われている各種連携教育の現状について報告した。はじめに特定の学問領域の軸を持たず、社会課題と向き合うところから、その解決に向けた多様な学術的アプローチと、必要な専門的能力を身につけるといふ、新潟大学創生学部におけるユニークな教育プログラムの概要といくつかの特徴的な科目の内容について示した後、当該学部で実際に行われている連携教育の事例として、社会連携（自治体、企業、非営利組織、その他各種団体との連携教育）と高大・大学間連携（高等学校との課題解決型学修に関する連携教育プロジェクト、国際交流事業）の詳細について報告した。

新潟大学創生学部の目指す大きなビジョンは transdisciplinary にあると言えようが、それは現時点において大きな課題ともなっている。現実の社会課題の解決に向けて、これから、自治体や企業、非営利組織、各種団体など様々な外部団体との連携を、今まで以上に推進・強化していくほか、大学間連携なども通じた実践的取り組みの蓄積が求められる。